

福崎農業振興地域整備計画基礎資料

令和6年5月

福 崎 町

目 次

ページ

第 1 地域の概況

1 立地条件	1
2 人口及び産業経済の動向及び見通し	1
3 地域の開発構想	2
4 農業関係法令に基づく各種農業振興計画の概要	2
5 農業関係以外の法令に基づく地域等の指定状況	2

第 2 土地利用の動向

1 農業振興地域の土地利用の動向	3
2 森林の混牧林地としての利用可能性	3

第 3 農業生産の現状と今後の方向

1 重点作目の概要	4
2 農業生産の動向と目標	5
3 農業生産技術及び集出荷販売等の改善目標	5

第 4 農業生産基盤の現状

1 農地の整備率	7
2 水田における排水の現状	7
3 農業生産基盤の整備開発に係る各種事業の実施状況	7

第 5 農用地等の保全及び利用の現状

1 農家戸数の動向及び見通し	1 2
2 耕地の拡張及びかい廃	1 2
3 農用地等の保全整備に係る各種事業の実施状況	1 3
4 農用地の流動化の現状	1 3
5 農作業の受委託及び共同化、地力の維持増進、耕地利用率、裏作導入等の現状	1 4
6 地域農業集団及び農業生産組織等の組織化の現状	1 4

第 6 農業近代化施設整備の現状

第 7 農業就業者育成・確保の現状

1	新規就農者の動向及び見通し	1 8
2	新規就農者育成・確保施設の状況	1 8
第 8 就業機会の現状		
1	農業従事者等の他産業就業の現状	1 9
2	農工法等に基づく開発計画の概要	1 9
3	農業従事者に対する就業相談活動の現状	1 9
4	企業誘致及び企業誘致活動の現状	1 9
第 9 農村生活環境の現状		
1	農村生活環境整備事業等の実施状況	2 0
2	農村生活環境整備の問題点	2 1
第 10 森林の整備その他林業の振興との関連に関する現状		
1	林業の概況	2 2
2	農業振興と林業振興の関連に関する現状と問題点	2 2
3	林業の振興に関する諸計画の概要	2 2
第 11 地域の諸問題の解決を図るための各種の協定、申し合わせ等の実施状況		
1	協定制度の実施状況	2 3
2	交換分合	2 3
第 12 農業及び農村の振興及び整備のための推進体制等		
1	推進体制図	2 4
2	福崎町の財政状況	2 4
3	その他参考となる事項	2 4

第 1 地域の概況

1 立地条件

本町は、神崎郡の南部に位置しており、兵庫県のほぼ中央の北緯 34 度 57 分、東経 134 度 46 分のあたりにあり、町域は東西約 10km、南北約 11km、総面積は 45.79 km²である。

東は加西市、西及び南は姫路市、北は神崎郡市川町にそれぞれ隣接しており、北、東及び西の 3 方向を中国山脈東部の支脈によって囲まれ、南が姫路平野にむかって開いた小盆地を形成している。この中央を、生野に源を発する市川が北から南にむかって流れており、これとおおむね直角に交差する大貫西谷を連ねる構造谷によって南北に分かれている。

気候は、瀬戸内海気候に属し、年降水量、降水日数ともに少なく、四季を通じて温和な日が多く、自然災害の極めて少ない地域である。

2 人口及び産業経済の動向及び見通し

(1) 総人口、世帯数及び産業別就業人口の動向及び見通し

	総人口 (人)		総世帯数 (世帯)		産業別就業人口 (人)				
		うち農業 就業人口		うち農家 (世帯)	総就業人口	第 1 次		第 2 次	第 3 次
						うち農業			
平成17年	20,669 (100)	6,098 29.5	6,359 (100)	1,402 22.0	9,697 (100)	452 4.7	451 4.7	3,590 37.0	5,655 58.3
平成22年	19,830 (100)	5,500 27.7	6,626 (100)	1,276 19.3	9,346 (100)	277 3.1	268 2.9	3,320 37.3	5,312 59.6
平成27年	19,570 (100)	5,030 25.7	7,440 (100)	1,170 15.7	9,330 (100)	250 2.7	240 2.6	3,390 36.3	5,690 61.0
平成32年 見通し	19,310 (100)	4,600 23.6	8,050 (100)	1,080 13.4	9,300 (100)	210 2.3	200 2.2	3,300 35.5	5,790 62.3

- (注) 1 市町村行政区域に関する数字である。
 2 ()内は構成比である。
 3 資料：国勢調査、農林業センサス、県企画県民部市町別主要総計指標（参考）

(2) 産業別生産額の動向及び見通し

上段＝百万円、下段＝%

	総生産額	第 1 次		第 2 次	第 3 次
			うち農業		
平成17年	94,400 100	410 0.4	400 0.4	53,950 57.2	40,040 42.4
平成22年	124,238 100	1,032 0.9	1,021 0.9	74,218 59.3	48,533 39.3
平成27年	131,000 100	1,100 0.8	1,100 0.8	77,000 58.8	52,000 39.7
平成32年 見通し	132,500 100	1,100 0.8	1,100 0.8	78,200 59.0	53,200 40.2

- (注) 1 ()内は構成比である。
 2 資料：兵庫県統計課市町民経済計算より

3 地域の開発構想

農業振興地域のほか、本町に適用されている主な地域指定としては、都市計画法による都市計画区域、近畿圏整備法（昭和38年）による都市開発区域がある。これらのうち農業振興地域と都市計画区域を除けば、現在、これらの地域指定に基づく具体的な計画はない。

本町のまちの将来像は、福崎町第5次総合計画においても“活力にあふれ、風格のある、住みよいまち”の発展としている。よって、本町に求められているまちづくりの重要な課題は、町の資源活用により“福崎らしさ”を明確化し、その周知を図り、情報を発信することで、時代が、ものからこころへ、量から質へ、開発から保全・活用へ、つくるからつかうへ、成長から成熟へ、住民ニーズの多様化・高度化する中で、人と人とのつながりを大切にし、一つのまちにおいて、「住む、学ぶ、働く」の3機能がさらに調和のとれているまちを目指すものとしている。

4 農業関係法令に基づく各種農業振興計画の概要

計 画 名	策定年度	範 囲	内 容
農 村 環 境 計 画	H15	市街化区域を除く全町	農業振興地域と一体に整備すべき地域の環境保全目標と対策基本方針の策定
農業振興地域整備計画	H28	〃	土地利用計画の策定及び農業振興計画の策定
農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想	H28	〃	農業経営基盤強化促進法に基づく農業振興
水田フル活用ビジョン	H28	〃	水田農業の確立

5 農業関係以外の法令に基づく地域等の指定状況

地域等の名称	指定年月日	根 拠 法 令
保 安 林 指 定	M30.12.31	森 林 法
砂 防 指 定	S22.11.15	砂 防 法
鳥 獣 保 護 区		鳥獣保護、狩猟に関する法律
都 市 計 画 区 域	S42.9.4	都 市 計 画 法
市街化・市街化調整区域	S46.3.16	都 市 計 画 法
宅地造成工事規制区域	S48.4.7	宅地造成等規制法
工 場 適 地	H3.3.19 福崎企業団地 H7.3.24 福崎東部工業団地	工 業 立 地 法
特 別 指 定 区 域	H16.6.11（西大貫） H19.1.9（27地区） H28.10.7（西大貫変更） H28.11.1（長目他9地区変更）	都 市 計 画 法 に基づく県条例

第2 土地利用の動向

1 農業振興地域の土地利用の動向

(単位：ha、%)

	総面積	農用地			農業用 施設 用地	森林 原野	混牧 林地	住宅地	工場 用地	その他
		農地	採草 放牧地	計						
H17年	4,582 (100)	932 (20.3)	0 (0)	932 (20.3)	9 (0.2)	1,949 (42.5)	0 (0)	339 (7.4)	149 (3.3)	1,204 (26.3)
H22年	4,582 (100)	883 (19.3)	0 (0)	883 (19.3)	5 (0.1)	1,933 (42.2)	0 (0)	342 (7.5)	148 (3.2)	1,271 (27.7)
H27年	4,579 (100)	842 (18.4)	0 (0)	842 (18.4)	5 (0.1)	2,461 (53.7)	0 (0)	492 (10.7)		779 (17.1)

(注) 1 ()内は構成比である。

2 森林の混牧林地としての利用可能性

該当なし

第3 農業生産の現状と今後の方向

1 重点作目の概要

適地適作の推進、実需者ニーズに対応した生産、特産物の産地育成を通して、「売れる作物づくり」を目指す。生産者の創意工夫、主体的な取り組みを基本に、地域での話し合いを活性化させ、生産者団体、実需者等がより連携できるよう推進する。

(1) 水稲

水稲は、従来から農業経営の展開及び農業所得の確保の上からも重要な位置を占めている。

今後も、良質米の高能率生産を推進するため、大型機械化一貫体制等、集落営農組織及び担い手農家を指導育成し、合理化・効率化を図る。

(2) 麦

経営所得安定対策の円滑な推進と畑作の定着化のため、水田における麦作の生産拡大を図る。また、特産もち麦の産地として需要に即した供給体制を整えるため、収穫量の高位平準化並びに品質向上に更に努める。

(3) 豆類

大豆については、経営所得安定対策の対象作物であるため、自給力の向上を図りながら、品質向上と作付銘柄の選定により、実需者が求める大豆づくりを目指す。

また、小豆・黒大豆等の生産についても、営農組織の育成強化と合わせて、大型機械の導入、高性能機械施設による栽培、加工技術の指導強化により、良質豆の増産を図る。

(4) 野菜など

野菜などは、旬彩蔵等市場条件が良好であり、鮮度の高いものの供給が必要である。実需者ニーズに応えるためにも、安全・安心な野菜生産供給、機械化等による低コスト生産、流通コストの低減、減農薬・減化学肥料生産など高付加価値化を推進する。

2 農業生産の動向と目標

(単位：ha、t)

作物名 ※1	作付面積			生産量			主な用途 仕向け先
	平成 22 年度 ※2	平成 27 年度 ※2	平成 32 年度 見込み	平成 22 年度 ※3	平成 27 年度 ※3	平成 32 年度 見込み	
水稻	381.7	352.8	356.0	1,885	1,767	1,780	主食用 JA 委託販売
麦	62.4	93.2	97.0	109	192	243	加工用 JA 委託販売
大豆	2.6	3.2	4.0	2	4	5	加工用 JA 委託販売、 直売所
飼料作物	2.1	4.3	5.0	63	129	150	乳牛給餌用 契約栽培
そば	2.6	7.3	8.0	122	153	272	加工用 JA 委託販売
野菜	73.1	74.0	80.0	—	—	—	食用 直売所
地力増進作物	42.8	12.8	15.0	—	—	—	
景観形成作物	8.1	4.0	5.0	—	—	—	

※1 農産物は平成 22 年度は地域水田農業ビジョン、平成 27 年度は水田フル活用ビジョンによる。

※2 平成 22、27 年度水田営農計画数値

※3 水稻、麦、大豆は近畿農林水産統計年報における直近の県単収を参照、そば、飼料作物は対象者への聞き取りによる。

3 農業生産技術及び集出荷販売等の改善目標

(1) 水稻

実需者ニーズに応じた計画的な作付を推進し、消費者ニーズに対応した安全で質の高い米を安定的に供給するため、下記の事項に基づき、おいしさに安全を添えた地元産米の生産を図る。

- ① 兵庫県や J A 兵庫西が推奨する品種の作付と土づくり並びに適切な肥培管理により、良質米の高位安定生産を推進する。
- ② 土地基盤整備事業の促進と併せ、機械施設の効率利用を図る。
- ③ 機械、設備の過剰投資を抑制し、受委託や共同利用など効率化を進め、乾燥調製はライスセンターの利用を推進する。

(2) 麦

特産品として育成しているもち麦については、平成 17 年産の作付面積 24.0ha が、平成 27 年産は 35.7ha と増加した。引き続き、もち麦生産組合を中心に麦作適地での生産規模拡大を推進し、

排水対策や肥培管理など基本技術を徹底して、品質・収量の向上を図る。

小麦においては、平成 27 年産の作付面積は 57ha である。担い手への土地の集積等により低コスト化を図るとともに、実需者と連携した産地づくりを推進し、販路の拡大を図る。麦は、経営所得安定対策の対象品目であるため、担い手への集積などにより、低コスト化を図りながら、生産面積拡大に努める。

(3) 大豆

大豆は、転作の多様化により減少傾向で、平成 27 年産の作付面積は 2ha で、今後は、出荷契約が取れるように生産規模拡大と生産性の向上を目指す。そのためにも、集落を単位とした作付の集団化を進め、排水対策や適期防除など基本技術を徹底して、品質・収量の向上を図る。

(4) 野菜

転作作物として有望な作物であるが、現状では自家消費が大部分で平成 27 年産の作付面積は 74ha である。

旬彩蔵等への出荷野菜については、農薬の適正使用や施肥・防除日誌の記帳を推進する。農家の自給自足が現状であり、農産物直売所等への出荷用としての品質・収量の向上を図りながら、生産コストの安定を考え、転作の一環としての作付けに取り組む。

第4 農業生産基盤の現状

1 農地の整備率

本町の土地基盤整備事業は、昭和46年の県営ほ場整備事業から始まり、平成27年度末では整備面積372.2ha、整備率76.0%に至った。

現在、西治区ほ場整備の工事・換地業務等が完了し、残りは繰上償還、清算等を残すのみとなっている。また、高岡・福田地区における約40haのほ場整備事業について、地域の営農組合の設立等と並行して推進している。

今後、残地においても地元の合意形成が図られれば、積極的にほ場整備を推進することとする。

2 水田における排水の現状

(単位：ha)

地区	水田の排水状況			町内 水田面積	農業振興 地域内 水田面積	農用地 区域内 水田面積
	4時間排除	日排除	排水不良			
全域	735	150	3	888	822	603

(注) 4時間排除・・・出水時において、湛水が4時間以上続く面積が10%未満のもの
 (湛水が畝高程度にとどまり、畑作物が冠水しない面積が90%以上のもの)
 日排除・・・出水時において、湛水が1日以上続く面積が10%未満のもの
 不良・・・出水時において、湛水が1日以上続く面積が10%以上のもの

3 農業生産基盤の整備開発に係る各種事業の実施状況

(1) ほ場整備の実施状況及び計画 (付図2-3)

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称	事業主体	地区名	事業の着工 ～完了年度	対図 番号
ほ場整備	168.3	915,638	県営ほ場整備事業	兵庫県	福崎東部	S45～56	1-1 1-2 1-3 1-4
ほ場整備	8.0	77,127	新農業構造改善事業	〃	田口地区	S56	2
ほ場整備	5.9	81,001	新農業構造改善事業	福崎町	大内地区	S57～58	3
ほ場整備	21.5	234,000	団体営ほ場整備事業	〃	板坂地区	S59～63	4
ほ場整備	8.0	63,493	水田農業確立対策事業	〃	高橋地区	S62	5
ほ場整備	12.9	271,259	土地改良総合整備事業	〃	矢口地区	H1～2	6
ほ場整備	11.9	194,936	水田営農活性化事業	〃	西光寺地区	H4～5	7
ほ場整備	65.2	1,458,260	県営ほ場整備事業	兵庫県	田原東部	H2～13	8-1 8-2 8-3
ほ場整備	42.3	1,009,000	県営ほ場整備事業	〃	八千種地区	H8～15	9
ほ場整備	1.6	36,000	共同施工営ほ場整備事業	山崎 千束地区	山崎地区	H17～22	10
ほ場整備	2.4	40,000	県単独小規模農地緊急整備事業	福崎町	田口地区	H19～23	11

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称	事業主体	地区名	事業の着工 ～完了年度	対図 番号
ほ場整備	24.9	582,000	県営ほ場整備事業	兵庫県	西治地区	H21～28	12
ほ場整備	45.0	989,300	県営ほ場整備事業	〃	高岡福田	H29～35	13
ほ場整備					山崎		14
ほ場整備					南田原		15
ほ場整備					西光寺野		16

(2) 農道等の整備の状況及び計画 (付図2-1、-2)

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業の着工 ～完了年度	対図 番号
農道整備	136.8	57,027	農道新設(西治・高岡地区農免道路)	福崎町	S45	2-2 1
〃	192.1	126,232	農道新設(市川-福崎農免道路)	〃	S50	〃 2
〃	300.0	12,750	第2次農業構造改善事業(ライスセンター進入路新設)	〃	S54	〃 3
〃	7.1	27,967	団体営農道整備事業・農道アスファルト舗装他(高橋地区)	〃	H3	〃 4
〃	10.0	8,215	土地改良総合整備事業・水路改修、農道新設(田口地区)	〃	H5～8	〃 5
〃		22,899	農道1号(大門・加治谷) W=5.5m、873.9m	〃	H13～14	〃 6
〃		5,028	農道2号(井ノ口) 舗装工W=4.0m、259.0m	〃	H13～14	〃 7
〃		7,391	農道4号(東大貫) 舗装工W=4.0m、443.0m	〃	H13 H16	〃 8
〃		4,612	農道5号(南大貫) 舗装工W=4.0m、209.0m	〃	H13～14	〃 9
〃		8,427	農道6号(南大貫) 舗装工W=4.0m、377.0m	〃	H13～14	〃 10
〃		3,531	農道7号(八反田) 舗装工W=4.0m、206.0m	〃	H13～14	〃 11
〃		6,843	農道8号(北野) 舗装工W=4.0m、296.6m	〃	H13 H15	〃 12
〃		1,194	農道9号(北野) 舗装工W=4.0m、76.6m	〃	H13	〃 13
〃		9,121	農道10号(北野) 舗装工W=4.0m、426.5m	〃	H13	〃 14
〃		14,869	農道11号(余田) 舗装工W=4.0m、908.5m	〃	H13～14	〃 15
〃		7,988	農道12号(余田) 舗装工W=4.0m、397.1m	〃	H13～14	〃 16
集落道整備		35,612	集落道1号(亀坪・東大貫・西大貫) 拡幅W=4.0m、623.8m	〃	H13～15	〃 17
〃		23,974	集落道2号(小倉) 拡幅W=4.5m、220.7m	〃	H13 H16～17	〃 18
〃		96,654	集落道3号(庄) 拡幅W=4.5m、532.3m	〃	H14～17	〃 19
〃		17,706	集落道4号(西光寺) 拡幅W=4.0m、185.3m	〃	H13、H15	〃 20
〃		41,976	集落道5号(西光寺) 拡幅W=4.0m、872.8m	〃	H13～14	〃 21

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業の着工 ～完了年度	対図 番号
集落道整備		14,566	集落道6号(南大貫) 拡幅W=4.0m、251.9m	福崎町	H14~15	2-2 22
〃		26,018	集落道8号(中島) 拡幅W=3.5m、228.0m	〃	H14~15	〃 23
〃		16,034	集落道9号(上中島) 拡幅W=4.0m、173.2m	〃	H13 H15~16	〃 24
〃		42,753	集落道10号(井ノ口) 拡幅W=3.5m、228.7m	〃	H17	〃 25
ため池等整備 事業(大規模)	48.0	132,000	桜上池改修(大門) 堤長 663 m、全面改修	〃	S62~ H3	2-1 1
〃	42.0	80,820	矢口口池改修(長野) 堤長 136 m、全面改修	〃	S59~ H元	〃 2
〃	42.0	9,590	矢口中池改修(長野) 堤長 68 m、余水吐改修	〃	S60	〃 3
〃	42.0	58,310	矢口奥池改修(長野) 堤長 88 m、全面改修	〃	S61~63	〃 4
〃	114.0	48,098	桜下池改修(西光寺野) 堤長 812m、全面改修	〃	S62~ H3	〃 5
ため池等整備 事業(小規模Ⅱ型)	10.1	65,000	東池改修(西光寺) 堤長 135 m、全面改修	〃	S60	〃 6
ため池等整備 事業(小規模)	30.0	26,000	板坂奥池改修(板坂) 堤長 112 m、全面改修	〃	S46	〃 7
〃	59.0	23,000	鴻ノ池改修(東大貫) 堤長 190 m、制波工、浚渫	〃	S50 H12	〃 8
〃	10.0	24,000	田口新池改修(田口) 堤長 89 m、制波工	〃	S53~54	〃 9
〃	10.0	14,000	神谷前池改修(神谷) 堤長 78 m、全面改修、樋管改修、制波 工	〃	S54~55 H21 H25	〃 10
〃	20.0	24,210	刈又池改修(庄) 堤長 170m、 全面改修	〃	S54~57	〃 11
〃	8.0	24,718	大谷下池改修(鍛冶屋) 堤長 64m、全面改修	〃	S55~58	〃 12
〃	15.0	59,178	余田新池改修(余田) 堤長 150m、全面改修	〃	H17	〃 13
〃	20.0	34,500	庄皿池改修(庄) 堤長 137m、 全面改修	〃	S59~62	〃 14
〃	1.8	23,098	田口前池改修(田口) 堤長 91 m、制波工	〃	S40	〃 15
〃	10.0	74,863	亀坪中池改修(西大貫) 堤長 129m、全面改修	〃	H8	〃 16
〃	8.0	69,585	普光谷池改修(余田) 堤長 221m、全面改修	〃	H18	〃 17
ため池等整備 事業(危険ため池)	1.8	50,634	落ヶ池改修(田尻) 堤長 173 m、部分改修	〃	H5	〃 18
〃	1.9	33,399	小鶴池改修(庄) 堤長 85m	〃	H5	〃 19
自治振興事業	6.0	8,860	西ノ池改修(北野) 堤長 46m、 全面改修	〃	S58	〃 20
〃	2.5	5,883	妙ノ池改修(北野)堤長 138m、 全面改修	〃	S59	〃 21
〃	5.0	28,392	ホイ谷池改修(南大貫) 堤長 200m、全面改修	〃	S61~62	〃 22

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業の着工 ～完了年度	対図 番号
自治振興事業	2.0	14,514	岩ヶ谷池改修(板坂) 堤長 45m、全面改修	福崎町	S 62～63	2-1 23
〃	9.0	15,274	丸池改修(中島) 堤長 138m、全面改修	〃	S 63	〃 24
〃	1.0	20,547	百町池改修(加治谷) 堤長 80m、堤体改修、樋管改修、部分改修	〃	S 16～17 S 48 H 2	〃 25
〃	8.5	17,117	東光寺池改修(長野) 堤長 49m、全面改修	〃	H 4～5	〃 26
ため池等整備事業(小規模)	1.4	18,500	奥の山池改修(東大貫) 堤長 45m、全面改修	〃	H 9	〃 27
〃	0.6	36,500	池ノ谷中池改修(北野) 堤長 45m、全面改修	〃	H 9	〃 28
ため池等整備事業(一般)	0.6	33,000	フロヤ池改修(加治谷) 堤長 79m、全面改修	〃	H 10	〃 29
ため池等整備事業(都市型)	3.7	62,000	亀坪奥池改修(西大貫) 堤長 82m、全面改修	〃	H 12	〃 30
〃	2.0	26,000	谷々池改修(余田) 堤長 63m、全面改修	〃	H 12	〃 31
ため池等整備事業(小規模)	11.4	70,000	大門皿池改修(大門) 堤長 173m、全面改修	兵庫県	H 11	〃 32
〃	12.3	57,000	庄新池改修(庄) 堤長 131m、全面改修	〃	H 12	〃 33
〃	16.0	133,500	北浦谷新池改修(西光寺野) 堤長 117m、全面改修	〃	H 13～14	〃 34
〃	1.5	13,130	鳥ヶ岡池改修(板坂) 堤長 39m、全面改修	福崎町	H 13	〃 35
〃	11.0	96,798	姫ヶ池改修(西光寺) 堤長 166m、全面改修	兵庫県	H 21～24	〃 36
〃	29.2	169,208	北浦谷奥池改修(北野) 堤長 96m、全面改修	〃	H 19～22	〃 37
〃	2.5	41,345	津染地改修(南大貫) 堤長 68m、全面改修	福崎町	H 21～23	〃 38
〃	2.7	67,000	高倉池改修(余田) 堤長 141m、全面改修	〃	H 15～16	〃 39
〃	5.0	56,000	尾池改修(高橋) 堤長 193m、全面改修	兵庫県	H 18～21	〃 40
〃	5.0	136,500	板坂口池改修(板坂) 堤長 104m、全面改修	福崎町	H 14～17	〃 41
ため池等整備事業(危険ため池)	2.9	38,920	倉谷下池改修(東大貫) 堤長 27.5m、全面改修	兵庫県	H 23～24	〃 42
かんがい排水事業	100.0	28,000	水路改修	南田原土地改良区	S 49	2-1 (1)
かんがい排水事業	12.0	8,910	水路改修	〃	S 57	〃 (2)
新農業構造改善事業	10.0	8,215	水路改修	福崎町	S 57	〃 (3)
土地改良総合整備事業	47.0	97,970	水路改修、農道新設	〃	H 5～8	〃 (4)
ため池等整備事業(用排水施設)	216.0	97,850	水路改修	兵庫県	S 60～ H 4	〃 (5)
かんがい排水事業(一般型)	441.6		導入トンネル、揚水機、用水管路	〃	H 10～	〃 (6)
農業用水施設整備		14,764	用水施設 2号(西大貫)パイプライン 773.5m	福崎町	H 15～16	〃 (7)

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業の着工 ～完了年度	対図 番号
農業用水 施設整備		17,605	用水施設4号(井ノ口)排水路 254.8m	福崎町	H13～14	2-1 (8)
農業排水 施設整備		14,640	排水施設1号(南大貫・西大貫) 排水路415.0m	〃	H15～17	〃 (9)
基盤整備 促進事業	61.4	107,000	幹線用水路改修(山崎・千束水 路)900m	〃	H21～23	〃 (10)

第5 農用地等の保全及び利用の現状

1 農家戸数の動向及び見通し

(単位：上段戸、下段%)

	総戸数	専兼別内訳			自給的 農家	経営耕地規模別内訳					
		専業	第1種兼業	第2種兼業		0.3ha未満	0.3～0.5ha	0.5～1.0ha	1.0～2.0ha	2.0～3.0ha	3.0ha以上
17年	1,402	108	42	607	645	645	335	346	61	8	7
	100	7.7	3.0	43.3	46.0	46.0	23.9	24.7	4.4	0.6	0.5
22年	1,204	76	38	472	618	622	240	278	48	9	7
	100	6.3	3.2	39.2	51.3	51.7	19.9	23.1	4.0	0.7	0.6
27年	997	115	22	330	530	528	185	218	40	9	17
	100	11.5	2.2	33.1	53.2	53.0	18.5	21.9	4.0	0.9	1.7
32年	800	136	8	216	440	434	137	165	32	9	23
(見通し)	100	17.0	1.0	27.0	55.0	54.3	17.2	20.6	4.0	1.1	2.8

資料／農林業センサス

2 耕地の拡張及びかい廃

(単位：ha)

	拡張	かい廃	かい廃の内訳					
			自然災害	人為 かい廃	非農林業 用途への 転用	農林道等 植林	耕作放棄	その他
平成25年	0	4.09		3.80				0.29
平成26年	0	2.73		2.73				
平成27年	0	3.25		3.25				

資料／農業委員会

3 農用地等の保全整備に係る各種事業の実施状況

(単位：円)

事業種目	事業費	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業着工・完了年度
鳥獣被害防止総合対策事業	19,736,458	防護柵 10,854m (田口、板坂)	福崎町	H23
〃	5,751,757	防護柵 3,071m (田口、板坂)	〃	H24
〃	600,000	防護柵 306m (板坂)	〃	H25
〃	992,889	防護柵 507m (福田)	〃	H26
野生動物防護柵設置総合支援事業	1,512,556	防護柵 862m (福田・桜)	〃	H27

資料／農林振興課

4 農用地の流動化の現状

(1) 権利移動の動向

(単位：a)

	3条						18条解約 (地主・第3者)		使用貸借合意解約 (地主・第3者)		合計	
	所有権		賃借権設定		使用貸借権設定		件数	面積 %	件数	面積 %	件数	面積
	件数	面積 %	件数	面積 %	件数	面積 %						
H25	26	250 31.3	1	10 1.3	12	107 13.4	12	120 15.0	16	312 39.0	67	799
H26	48	386 30.9	0	0 0	3	25 2.0	15	138 11.0	31	700 56.1	97	1,249
H27	15	110 6.0	1	30 1.6	16	158 8.7	24	418 23.0	55	1,105 60.7	111	1,821

資料／農業委員会

(2) 権利移動の動向－農用地等の流動化諸方策別

(単位：ha)

	農地移動適正化斡旋事業				利用権設定等促進事業				農地保有合理化事業				その他	
	売買		貸借		所有権移転		利用権設定		売買		貸借		件数	面積
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積		
H25	—	—	—	—	—	—	145	30.3	—	—	—	—	—	—
H26	—	—	—	—	—	—	153	33.4	—	—	—	—	—	—
H27	—	—	—	—	—	—	717	89.8	—	—	—	—	—	—

資料／農用地利用集積計画公告

5 農作業の受委託及び共同化、地力の維持増進、耕地利用率、裏作導入等の現状

	農作業の受委託 経営体	農作業の共同化 組織	耕地利用率 %	裏作導入 ha
H25	137	15	81.5	38
H26	149	15	81.9	52
H27	178	16	75.9	27

資料／農林振興課

6 地域農業集団及び農業生産組織等の組織化の現状

(1) 集落営農組織（付図3）

組織名	設立年度	組織構 成員数	活動内容	対図 番号
山崎機械利用組合	S 47	65	農作業受託	1
吉田営農組合	S 48	44	農作業受託	2
出屋敷農耕組合	S 49	19	農作業受託	3
田口営農組合	S 56	47	農作業受託	4
農事組合法人板坂営農組合	S 56	79	水稲、転作を一元管理	5
農事組合法人鍛冶屋営農組合	S 58	69	水稲、転作を一元管理	6
馬田第一営農組合	S 63	17	農作業受託	7
農事組合法人高橋営農組合	S 63	29	水稲、転作を一元管理	8
株式会社大門営農	H 4	80	水稲、転作を一元管理	9
加治谷農業機械利用組合	H 5	6	農作業受託	1 0
西光寺営農組合	H 5	46	農作業受託	1 1
株式会社八千種営農	H11	18	水稲、転作を一元管理	1 2
田尻区農業機械利用組合	H14	15	農作業受託	1 3
桜営農管理組合	H15	38	農作業受託	1 4
農事組合法人西治営農組合	H18	84	水稲、転作を一元管理	1 5
中島営農組合	H25	51	転作を一元管理、農作業受託	1 6
長野農業者団体	H28	50	農作業受託	1 7
神谷区環境保全組合	H28	39	農作業受託	1 8

(2) 生産出荷組合及び農業者研究会組織

組織名	設立年	組織構成員数	活動内容
もち麦生産組合	H 3	14	もち麦の生産技術の研究等
福崎野菜の会	H 16	12	学校給食に野菜を供給
福崎切り花部会	H 7	10	共同出荷、技術改良
福崎町営農組合協議会	H 14	16	営農組合活動の連携強化
福崎町認定農業者等連絡協議会	H 28	28	農業振興と地産地消の推進、連携強化

第6 農業近代化施設の整備の現状

これまでに整備した施設及び農機具については、以下のとおりである。

(1) 生産関係施設(付図3)

(単位: ha、戸、千円)

事業種目	受益面積	受益戸数	事業費	施設の概要		事業主体	事業完了年度	対図番号
				名称	数・規模			
麦作集団育成対策事業	18.0	47	6,382	コンバイン、トラクター、動力噴霧器	一式	吉田実行組合	S52	①
第2次農業構造改善事業(園芸団体造成)	0.9	5	39,000	ビニールハウス	15棟 9,135㎡	農事組合法人大貫施設園芸管理組合	S53	②
”(水田作地域施設)	100.0	2,058	25,400	育苗施設	1棟 358㎡	福崎町農業協同組合	S53	③
”(”)	1.2		870	トレンチャー	1台	福崎町農業協同組合	S53	④
転作促進特別対策事業	10.0			トレンチャー	2台	福崎町農業協同組合	S54	⑤
”	49.0	2,058	650	大型選粒機	2台	福崎町農業協同組合	S54	⑥
”	1.25	5	4,665	飼育作物収穫	一式	福崎町酪農組合	S55	⑦
家畜糞尿処理施設設置事業	16.5	3	5,010	糞尿処理施設	一式	向野養鶏機械利用組合	S56	⑧
地区再編農業構造改善事業(農業近代化施設整備)	20.0	57	7,350	トラクター、動力噴霧器	一式	田口営農組合	S56	⑨
”(”)	24.0	77	7,350	”	一式	板坂営農組合	S56	⑩
”(”)	24.0	77	5,250	格納庫兼作業所	1棟 115.5㎡	”	S57	⑪
農業機械作業広域調整促進事業	610.0	2,058	24,010	農業機械修理センター	1棟 407.21㎡	福崎町農業協同組合	S57	⑫
農村地域農業構造改善事業(農業近代化施設整備)	44.6	75	11,870	農業用機械	一式	鍛冶屋営農組合	S58	⑬
”(”)	44.6	75	8,200	農機具格納庫	1棟	”	S58	⑭
地区再編農業構造改善事業	5.0	77	1,430	大豆脱粒機	2台	板坂営農組合	S58	⑮
農村地域農業構造改善事業	25.0	68	26,230	育苗施設	1棟 252.7㎡	鍛冶屋営農組合	S60	⑯
水田農業生産性向上モデル事業(集落営農機械整備事業)	25.0	68	2,701	トラクター	1台 25ps	”	H元	⑰
集落営農組織高度化促進事業	20.5	51	6,912	トラクター コンバイン 播種機	1台34ps 1台3条刈 1台5条播	中島営農組合	H26	⑱
経営体育成支援事業			30,910	穀類乾燥調製施設	一式	西治営農組合	H26	⑲

(2) 関係施設流動事業(付図3)

(単位: ha、戸、千円)

事業種目	受益面積	受益戸数	事業費	施設の概要		事業主体	事業完了年度	対図番号
				名称	数・規模			
第2次農業構造改善事業(水田作地域施設)	300.0	2,058	240,850	ライスセンター	1棟	福崎町農業協同組合	S53~54	i
転作促進特別対策事業	4.0		15,420	大豆加工施設	1棟 101.25 m ²	〃	S57	ii

第7 農業就業者育成の動向及び見通し

1 新規就農者の動向及び見通し

(単位：人)

		新規就農者				新規参入者
		新規学卒就農者	離職就農者	39歳以下	40歳以上	
現状値 平成27年	1	0	1	1	0	0
目標値 平成32年	3	1	2	2	1	0

2 新規就業者育成・確保施設の状況

該当なし

第 8 就業機会の現状

1 農業従事者等の他産業就業の現状

(単位：人)

区 分	男	女	計
第 1 次産業	200	77	277
第 2 次産業	2, 151	1, 169	3, 320
第 3 次産業	2, 734	3, 015	5, 749
計	5, 085	4, 261	9, 346

H22 年国勢調査

2 農工法に基づく開発計画の概要

該当なし

3 農業従事者等に対する就業相談活動の現状

該当なし

4 企業誘致及び企業誘致活動の現状

該当なし

第9 農村生活環境の現状

1 農村生活環境整備事業等の実施状況（付図3）

事業種目	受益面積	事業費	地区名・施設名	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業着工完了年度	対図番号
地方改善県費補助事業		14,466	西野農道	L = 260m	福崎町	S 45～47	(1)
〃		8,664	〃	L = 289.7m	〃	S 47	(2)
農業施設地方改善事業		26,852	出屋敷西山筋線農道	L = 591.8m	〃	S 52	(3)
〃		14,860	出屋敷県道三木山中縦線	L = 310.5m	〃	S 54	(4)
〃		35,904	スガキ新設道路	道路 L = 354m 水路 L = 398m	〃	S 55	(5)
〃		24,601	西山筋農道新設	L = 396m	〃	S 55	(6)
農林業地域改善対策事業		16,830	西野かんがい排水	L = 550.9m	〃	S 55	(7)
〃		9,900	出屋敷農道新設	L = 218.4m	〃	S 57	(8)
〃		23,184	公民館（馬田）		〃	S 48	(9)
〃		10,408	〃（西野）		〃		(10)
自治振興事業		6,000	春日荘（鍛冶屋）	木造瓦葺平屋建 70.72 m ²	〃	S 55	(11)
〃		6,200	ことぶき荘（西谷）	〃 60.00 m ²	〃	S 55	(12)
〃		9,400	傘寿荘（西治）	〃 82.30 m ²	〃	S 56	(13)
〃		5,915	長寿荘（高橋）	〃 57.69 m ²	〃	S 57	(14)
〃		18,745	新町老人創作館（新町）	鉄骨造り2階 154.77 m ²	〃	S 59	(15)
地域づくり事業		2,779,981	エルデホール		〃	H 2～4	(16)
地域福祉推進特別対策事業		159,521	文珠荘		〃	H 6～7	(17)
社会福祉施設整備事業		321,245	老人デイサービスセンター		〃	H 6～7	(18)
集落環境施設整備事業		19,575	集落センター（田口）	1棟	〃	H 2～4	(19)
〃		31,580	〃（板坂）	1棟	〃	S 59	(20)
七種山周辺整備事業		50,000	七種山	遊歩道、ウォータジョーク	〃	S 60～63	(21)
農村地域農業構造改善事業		70,686	八千種	農林業体験実習館	〃	S 61～62	(22)
〃		35,740	〃	野外広場施設	〃	S 62	(23)
〃		38,530	〃	野営場等林間休養施設	〃	S 61～62	(24)
新農業構造改善計画事業		404,080	もちむぎのやかた		〃	H 5～7	(25)
工業再配置促進事業		244,424	スポーツ公園	ソフトボール・テニス場	〃	S 63～ H 4	(26)

2 農村生活環境整備の問題点

(1) 安全性

防災・減災については、災害危険個所に対し山地崩落対策及び浸水対策などの改修整備を進めながら、日常的な住民自らの防災意識などの向上を図る。

消防については、複雑で多様化する様々な災害に迅速かつ的確に対応するとともに、住民の意識向上などにより火災発生時における被害の軽減に努める。

交通安全については、交通安全意識を高め、関係機関との連携により安全・安心なまちづくりを進める。

防犯については、行政、住民、各種団体が一体となった防犯環境づくりにより、犯罪のない地域づくりを進める。

(2) 保健性

ごみ処理については、行政と住民・事業者が協力してごみの減量化と再資源化を推進する。

上下水道については、安全で安心な水道水を安定して供給することをめざすとともに、下水道への接続率の向上に努める。

健康・医療については、食育や健康体操による健康づくりを広げるとともに、各世代での疾病に対する早期発見、早期治療のできる環境づくりや、家庭や関係機関などとの連携のもとに、地域予防医療の充実に努める。

(3) 利便性

道路・交通については、環境や交通弱者へ配慮し、安全かつ快適な交通ネットワークにより利便性が向上した道路交通網づくりを進める。

(4) 快適性

公園・緑地については、健康づくりやふれあいと憩いの場となる既存公園施設の維持管理や緑化が住民参加により進むよう支援するとともに、自然を保全した公園の整備充実に努める。

地域福祉については、ユニバーサル社会を構築し、移動・買い物支援の環境づくりに取り組むとともに、地域に関わるすべての人がそれぞれの役割を担い、「共に生きる社会づくり」を目指す。

保育・就学前教育については、保育ニーズに対応できる体制を整え、保育サービスの充実に質の高い就学前教育を推進する。

(5) 文化性

スポーツ・レクリエーションについては、住民のニーズに応じた活動の場や気軽に参加できる環境づくりや健康づくりを進める。

芸術・文化、文化財については、先人を顕彰し、その生き方や功績などを体験的に学び、ひとづくりやまちづくり、地域間交流に生かすとともに、住民主体の文化芸術の企画や住民が誇りと愛着をもって文化財保存継承活動に参加できる環境づくりを進める。

第 10 森林の整備その他林業の振興との関連に関する現状

1 林業の概況

本町の山林面積は 2,461ha、町全体の約 53.7%を占め、水源かん養など、多くの公益的機能を果たしているが、山地を形成している地層は、第三紀層を主体とした脆弱な土質であるため、生産力の低い林地、赤松、広葉樹等の多い山林分布となっている。戦後の造林ブームで、適地には、杉、桧等が植林され、人工林率も約 39.2%となったが、林業の担い手が減少しており、優良林の生産にはほど遠い状態である。今後は、松くい虫被害による枯れ松の処理や、県民緑税を財源とした森林の保全・再生のための事業として、森林の防災面での機能を高める災害に強い森づくりを推進し、森林周辺の防災減災を図ります。

林道整備計画表

路線名	現況 平成27末		整備計画		
	幅員 (m)	延長 (m)	幅員 (m)	延長 (m)	利用区域面積(m ²)
小滝線	4.0	2,174	4.0	2,174	148
矢口線	2.0	2,000	4.0	2,000	97
七種線	3.0	1,865	4.0	1,865	228
直谷線	2.0	1,080	4.0	1,080	86
三谷池線	2.0	1,400	4.0	1,400	105

2 農業振興と林業振興の関連に関する現状と問題点

本町には専業林家はなく、経営面積も少ない上に経済林としても条件が悪く、資産的保有の考えが強い。高齢化が進み、経営意欲の減退が強く、後継者の育成が必要である。

今後、長期的計画に従い、集団的・組織的に造林、除間伐及び林道の整備も含め、健全な森林作りを目的に推進していく。

3 林業の振興に関する諸計画の概要

該当なし

第 11 地域の諸問題の解決を図るための各種の協定、申し合わせ等の実施状況

1 協定制度の実施状況

該当なし

2 交換分合

(1) 実施状況

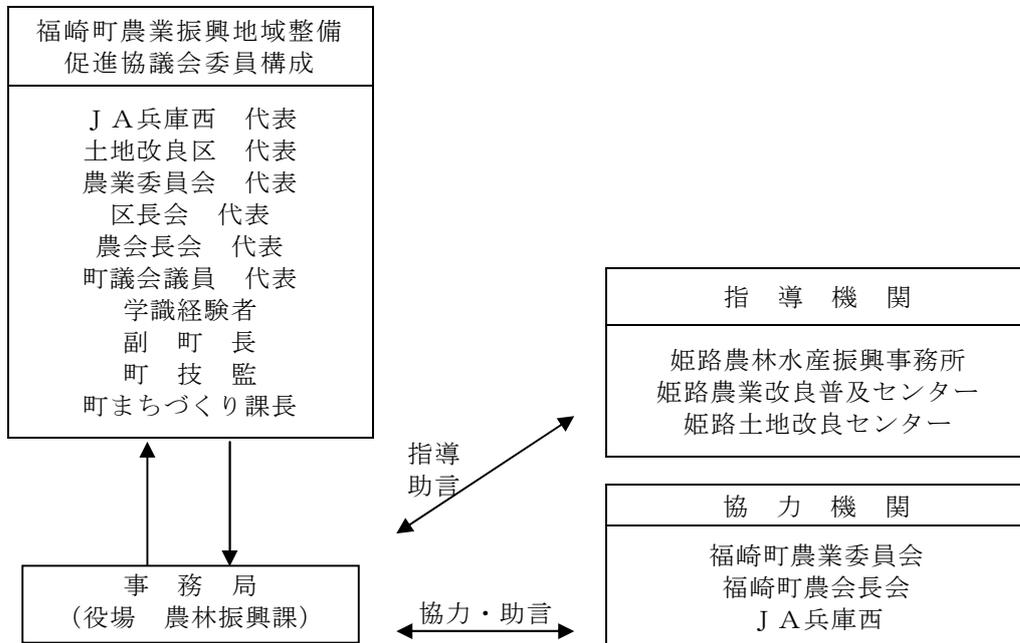
該当なし

(2) 今後の見通し

本町においては、現在に至るまで1件も実施していない。今後の見通しについては、農作業効率を高めるため、また、担い手農家の規模拡大をはかる上からも必要であるので推進に努める。

第 12 農業及び農村の振興及び整備のための 推進体制等

1 推進体制図



2 福崎町財政の状況

(単位：百万円)

	平成17年度	平成22年度	平成27年度
歳出合計 (A)	6,397	7,482	8,557
農林水産業関係費 (B)	(377) 417	(448) 467	(475) 486
B/A (%)	6.40	6.22	6.14
財政力指数	0.83	0.766	0.728
実質収支比率 (%)	3.0	3.9	3.6
公債費比率 (%)	15.1	13.3	11.9
経常収支比率 (%)	83.9	83.0	90.3

() は農業費のみ 資料/決算統計・決算書

3 その他参考となる事項

農家は、行政への依存度が依然として高く、情報提供や指導助言は積極的に行うように努めるが、地方財政が貧乏している昨今、行政の責任で行うべき事業と住民サイドで行うべき事業の区分を明確にする必要がある。